

公益社団法人加古川市シルバー人材センター 令和7年度 事業報告

はじめに

令和7年度の我が国経済については、令和7年1月24日に閣議決定された「令和7年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」（いわゆる「政府経済見通し」）によれば、「令和7年度については、物価上昇が落ち着く中、個人消費等の内需が増加し、GDP成長率は実質で1.2%程度、名目で2.7%程度と見込まれる。」とされていましたが、物価上昇は止まることなく、さらに年度末にはアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃による世界経済の混乱に飲み込まれるなど厳しい状況にありました。

シルバー人材センターにおいては、入会者数の伸び悩みや新規入会者の高齢化の進行などが課題となっており、新たな会員増強と新たな仕事の開拓が求められています。

このような中、当センターでは、事業の基本理念「自主・自立、共働・共助」と働く上でのルール「健康と安全＝自己管理」並びに「適正就業」を基本に、令和7年度事業計画に基づいて、会員の皆様はもとより地域の皆様、加古川市をはじめとする公共団体、民間事業所等のご理解・ご協力を得ながら事業展開し、令和7年度決算は、3年連続の黒字決算となりました。令和2年度から3年間続いた赤字決算から完全に脱却できました。一方、インボイス制度による税負担の懸念は続きます。令和8年度税制改正大綱にはインボイス制度による消費税仕入税額控除の経過措置の緩和がうたわれたものの、最終的には消費税仕入税額控除が廃止されることは変わりなく、その対策を進める必要があります。令和7年度は、インボイス制度による税負担を回避するために年度当初から加古川市及び加古川市上下水道局との契約において包括的契約方式を導入しましたが、包括的契約方式のさらなる拡大を図るべく制度の周知などに努めてまいりました。また、会員情報提供サイト「Smile to Smile」の活用を進めるとともに、スマートフォン操作に不安のある会員に対しスマホ講習会やStoS登録説明会等を開催し、事務の効率化に努めました。

1. 重点的な取り組み

(1) 会員増強

会員拡大委員会の活動とともに、「夫婦会員等の優遇制度」の活用、公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）との連携のもと高齢者活躍人材確保事業を活用した各種媒体を通じた事業のPR、会員募集チラシの加古川市内家庭への各戸配布、市内各所を走る公用車に会員募集のマグネットシートを貼り付けてのPR、生活情報誌リビングへの折り込み広告、WEB広告などを行い、またハローワーク加古川と連携しシニア面接会等に参加するなど、会員増の取り組みを推進しま

した。

また、会員お仕事情報、講習会・相談会情報や会員お得情報等の発信と健康相談事業の推進、各種同好会の支援及び連携事業所の拡充等により、会員へのサービス向上を図ることで会員の定着率を高めて、会員増の取り組みに努めました。併せて、「プラチナ会員制度」の活用により、会員の定着率向上の取り組みを推進しました。特にお仕事情報、講習会・相談会情報など就業に直接かかわる情報については、会員情報提供サイト「Smile to Smile」を活用し、タイムリーに情報発信するように努めました。

入会説明会は、6月、7月、10月、令和8年2月及び3月に臨時説明会を開催し、令和7度は3月末までに17回開催するとともに、オンライン入会説明会の周知に努め入会しやすい環境づくりに努めました。

また、入会登録日を従来の第3水曜日以外でも実施することとし、令和7年4月からは、第2火曜日及び第4木曜日でも入会登録を受け付けることで、入会希望者の利便性の向上に努めました。

結果として、会員数1,338人、夫婦会員数61組、プラチナ会員数51人となり、前年度と比較して、会員数は7人の増、夫婦会員は5組の増、プラチナ会員は8人の増となりました。

(2) 就業機会の確保・開拓・創出・充実

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等を活用し、会員の創意工夫のもとに子育て支援、高年齢者に対する見守り事業などを実施、地域の企業の人手不足の解消を支援して就業機会の創出、拡大に努めるとともに、就業開拓員による企業訪問にも取り組みました。

またセンターPRチラシを9月に生活情報誌リビングにも折り込み、11月下旬及び1月下旬には加古川市内の家庭に配布し、センターの魅力を発信して就業機会の開拓・確保と新規入会の促進に努めるとともに、行政機関や町内会・自治会等への働きかけを行っています。

さらに、会員が自らの創意工夫で事業を展開できるように独自事業の開拓を会員に呼びかけました。

結果として、契約件数3,367件、契約金額665,369,131円となり、前年度と比較して契約金額は102.4%となりましたが、契約件数では86.2%に留まりました。

(3) 安全・適正就業の徹底

シルバー人材センターの社会的役割、責任を認識し、事業運営に関しては、より適切な運営が求められています。会員と役職員が一体となって適切な事業の運営に努めました。

安全就業においては、会員は自らの日常生活や就業の場で「健康と安全＝自己管理」という意識を持ち、健康管理や事故を防ぐ意識を高めることが重要です。会員の正しい理解を得るために、センターにおける働き方について、入会説明会、技能講習会、地区委員連絡会をはじめとする各種会議等において、安全・適正就業に対する意識の向上を図るとともに、安全ニュースなどの発行による周知に努めました。

また法令順守の観点から「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に基づく働き方と就業日数・時間について会員自身が正しく理解することとお客様にご理解・ご協力を求め、安全で適正な就業の徹底を図りました。

(4) 効率的な運営

効率的な運営を図るために会員情報提供サイト「Smile to Smile」の機能を活用し、お仕事情報等の情報をタイムリーに発信するとともに、フリーランス法に対応するため就業条件等の明示を行っています。一層のデジタルディバイド解消のため、スマホ講習会開催や「Smile to Smile」登録サポートを実施しました。スマホ講習会は11月5日、6日及び15日の3日間にわたって実施しました。また「Smile to Smile」登録サポートは、随時の相談だけでなく、月1回定期的に「StoS登録説明会」を開催し、より効率的に多くの会員へ「Smile to Smile」登録サポートを行いました。

2. 事業内容

(1) 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供

家庭、民間事業所及び加古川市、ハローワーク加古川等から高年齢者の就業に関する情報を収集し、電話、郵送、会員の仕事情報の配布、センターホームページや会員情報提供サイト「Smile to Smile」によるお仕事情報の発信等により、会員に提供しました。

また、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）及び公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）への参画や他市町のシルバー人材センターとの連携や情報交換により、高年齢者の就業に関する情報を収集し、会員に提供して事業の質的向上と量的拡大に努めました。

(2) 高年齢者の就業に関する調査及び研究

役職員や会員が兵シ協や全国公益法人協会からの情報を各種研修会・講習会の参加などを通じて積極的に活用し、具体的な問題点（安全・適正就業の徹底、事務処理の集中化、新会計基準等）について調査・研究しました。

また、6月23日には大阪府茨木市シルバー人材センターの事務局職員が来所され、総会運営、特色のある事業実施、市民に対するPR活動等について情報交換を

行いました。さらに、11月26日には、加古川市が先行する包括契約方式について、加東市、小野市、淡路市、南あわじ市、洲本市の各シルバー人材センター職員が来所され意見交換を行い、令和8年3月16日には加古郡広域シルバー人材センターが来所され同様の意見交換を行いました。

(3) 高齢者に対する就業相談の実施

定期の入会説明会（第2水曜日開催）に加えて、必要に応じて曜日や会場を変更した臨時の入会説明会を実施するとともに、オンライン入会説明会を実施し、延べ185人（男119人、女66人）を対象に「就業相談」を実施しました。

またその他、随時来訪する会員への就業相談だけでなく、定期（毎月第2・第4火曜日開催）の就業相談会を開催するとともに、入会后1カ月以内に就業がなかった会員へ就業相談の案内も実施しました。さらに7年度中に就業のなかった会員に対し2月24日、25日、26日の3日間就業相談会を開催しました。

(4) 高齢者に対する就業の機会の確保及び提供

① 受託事業

地域社会に密着した臨時的かつ短期的な仕事を家庭、民間事業者及び公共団体等から請負又は委任の形式で引き受け、事業を推進しました。

令和7年度における請負・委任契約の事業実績（別表1・2・3参照）は、契約金額において585,373,226円、前年度と比較して約1.8%の増、契約件数3,215件、就業実人員883人、就業延人員91,025人日、就業実人員就業率66.0%となりました。

令和7年度は、契約単価が上がったことにより契約金額は増えていますが、契約件数が約14%減となるなど、就業実人員、就業延人員、就業実人員就業率とも前年度を上回ることができませんでした。

② 自主事業と地域就業機会の創出・拡大事業

自主事業は、会員の創意工夫により企画・実施するもので、令和7年度は「緑のリサイクル事業」「パソコン応援隊」「刃研ぎ」「たんぼぼ保育園〔地域型保育事業の小規模保育事業（A型）〕の運営」「6次産業化の推進と耕作放棄地再生事業」「公民館の喫茶事業（加古川西公民館）」及び「焼き芋販売」に取り組みました。

また、加古川市から受託した「産後家事ヘルプ事業」「ひとり親家庭日常生活支援事業」「ひとり親家庭等学習支援事業（かこ塾）」にも取り組みました。

③ シルバー派遣事業の実施

兵シ協が実施している「一般労働者派遣事業」を活用して、高齢者の多様な就業ニーズに応えるための就業形態の選択肢を増やすとともに、事業の適正化並

びに法令遵守を推進しました。

結果として、契約金額79,995,905円、契約件数152件、就業実人員169人、就業延人員16,288人日となり、前年度と比較して契約金額が約7.3%の増、契約件数で約0.7%の増、就業実人員約2.3%の減、就業延人員約5.2%の増となりました。令和7年度は就業実人員が減少したものの、契約金額、契約件数、就業延人員とも昨年度を上回りました。(別表3参照)

④有料職業紹介事業の実施

兵シ協が実施している「高齢者の有料職業紹介事業」を活用して、センターの就業形態(請負・委任方式)に馴染まない高齢者に適した臨時的、短期的な雇用の仲立ちをする事業で、令和7年度は2件、延べ311人日の紹介を実施しました。内容は、選挙管理委員会の期日前投票所管理者及び投票立会人業務です。

(5) 高齢者等に対する講習会等の開催

会員の技能向上や安全・適正就業及び就業機会の拡大を図ることを目的に当センター主催で5種目を開催し、延べ306人の会員が受講しました。

技能習得のための講習

講習名	コース	講習数	受講人数
植木剪定講習	3日間コース	2講習	17人
	育成プログラム	—	0人
家庭清掃基礎講習	3時間コース	11講習	68人

安全・適正就業のための講習

接遇講習	2時間コース	13講習	118人
体力測定(新体力テスト)	1時間程度	1日	25人
自動車安全運転講習	1時間(シュミレーター)		78人

また、兵シ協が「高齢者活躍人材確保育成事業」として開催したハウスクリーニング講習及びスマホ講習に協力して高齢者の技能の習得と就職や就業の場の提供及び確保に努めました。なお、スマホ講習会については、加古川市シルバー人材センター単独でも11月に3日間実施しました。

(6) 普及啓発活動の推進

事業の主旨やシステムの正しい理解を得るために市役所や社会福祉協議会などの協力を得てパンフレットやチラシ、広報誌の配布を行い、センターホームページ等広報活動を通じて事業の普及・啓発に努めるとともに、9月には生活情報誌リビ

ングにチラシを折り込み、さらに会員の協力により事業の普及啓発用チラシを11月下旬及び1月下旬に市内家庭に配布いたしました。

また、10月をシルバー人材センター普及啓発月間と設定して、令和7年10月25日に「シルバーふれあいフェスティバル2025」を実施しました。

さらに会員が事業の適切な理解を得るための取り組みとして「会報 還流(7月、1月)」などを発行・配布するとともに、タイムリーな情報発信に「Smile to Smile」を活用しました。

(7) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業は、シルバー人材センター事業の最優先課題であり、会員が常に「健康と安全＝自己管理」という意識を持ち、事故の防止や健康管理に努めなければなりません。このため安全・適正就業推進委員会を中心に、会員の安全就業、健康管理及び適正就業の推進に努めました。

- 安全・適正就業推進委員会を開催しました。(4回)
- 安全就業教育を実施しました。(入会説明会時17回)
- 交通安全意識高揚啓発を実施しました。(全国交通安全運動、県事故防止運動)
- 安全就業パトロールを実施しました。(2回)
- 職種別の安全講習会を実施しました。(技能講習時11回)
- 接遇講習を実施しました。(13回)
- 適正就業の推進のため長期就業の解消に努めました。
- 正会員の安全・適正就業に係る就業制限に関する基準を活用し、会員の事故防止や適正就業に努めました。
- 年度内に事故を起こした会員に対して委員会に出席を求め、事故発生の状況の再確認と事故の再発防止に努めました。
- 脚立等を使用する作業の安全確保のための順守事項を定め、令和7年度から実施しました。
- 平成28年に厚生労働省が示した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を活用して、発注者に対してシルバー人材センターにおける働き方について周知し、会員に対しては入会説明会における周知と必要に応じて研修や面談による説明を実施して、適正就業の推進に努めました。
- 当センター独自の「職種別就業に関するガイドライン」を周知し、安全就業の徹底に努めました。

(8) 組織の充実

① 部会・委員会の組織の活用

時代の変化や地域のニーズに的確に対応するために総務・地域活動委員会、広

報委員会、福利厚生委員会、業務・就業開拓委員会、安全・適正就業推進委員会、会員拡大委員会の各種委員会を開催し、委員会毎のテーマを設定して会員からの提案等を活用した事業の推進に努めました。

各委員会の協議、検討等の状況については「委員会だより」として5回にわたり全会員に配布しました。

② 女性の入会促進

「家事援助サービス事業」のコーディネーターを配置し、事業に関する講習会（家庭清掃基礎講習等）を実施し、女性会員の活躍の場を提供するとともに、寒餅づくり、さくら餅づくり、味噌づくりなどを開催して女性会員の入会及び定着促進に努めました。

③ 地域班組織の充実

センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高年齢者が共に助け合い共に働く自主的な組織であり、地域社会の理解と協力を得ることにより活発な活動ができます。そのためには地域班活動は欠かせないものです。

地域班活動では、10地区18地域の地区委員及び世話人の積極的な活動により、センター役員や事務局と会員とのパイプ役としての役割を果たしていただきました。令和7年度の地区親睦会は、10月に野口地区で実施されたのを皮切りに、健友会では11月に、加古川・鳩里地区では12月に、浜手地区では令和8年1月に実施されました。

④ 職域班活動の充実

機械除草班、人力除草班、植木班、家事援助班等において、地域毎の就業を推進し、各地域の会員がそれぞれの地域で就業する体制とし、より一層地域社会に貢献するとともに安全就業の徹底に努めました。

⑤ 事務処理の集中化・適正化の推進

兵シ協を中心に推進している、拠点センターの事務処理の集中化に積極的に参加して、業務の事務処理の効率化・適正化の推進を図りました。

(9) 福利厚生事業の充実と活用

福利厚生委員会が主体となって、会員の親睦及び相互共助並びにセンターの発展に努めました。

令和7年度は、親睦バス旅行を11月16日及び17日に実施し、レクリエーション大会も4月22日にグランドゴルフ大会を、ボウリング大会を9月3日、輪投げ大会を令和8年2月19日に実施しました。

また、会員割引協定に協力していただける連携事業所の開拓を進め、会員お得情報をホームページで会員向けに発信しています。さらに、同好会活動への支援も実施しました。

(10) 「神野事業所」及び「木村作業所」の活用

神野事業所は、会員の活動拠点、地域の高齢者の居場所と位置付け、各種会議や委員会活動、同好会・クラブ活動及び各種教室の開催等利用頻度が高まっています。

木村事業所は、ふすま・障子・網戸等の張替作業、チラシ（ポスティング）の仕分けと受け渡し及び刃物研ぎ等に利用し、冬季には焼き芋販売も行っています。

(11) 法人としての一般事業

ア 定款に定める会議

① 定時総会 令和7年5月30日 市民会館小ホール

主な内容 令和6年度決算の承認、役員を選任

(報告事項) 令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、収支予算

② 理事会

(第1回) 令和7年5月13日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 令和6年度事業報告承認、決算報告承認、役員候補者選任の承認、第60回定時総会招集決定、正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）等

(第2回) 令和7年5月30日 市民会館 会議室

主な内容 理事長の選定、委員会委員長の選出、シルバーふれあいフェスティバル2025開催承認、シルバーふれあいフェスティバル実行委員会設置承認

(第3回) 令和7年7月29日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 会員親睦旅行実施承認、正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）、職員募集状況報告、空調付作業服等購入助成金報告等

(第4回) 令和7年9月30日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 職員就業規則改正案承認、育児介護休業規程案承認、嘱託職員・臨時職員育児介護休業規程案承認、正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）、会員満足度アンケートの結果報告等

(第5回) 令和7年11月25日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）、令和7年度上期の経営状況報告、正規職員採用報告等

(第6回) 令和8年1月27日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 旅費規程の一部改正承認、第4次中・長期計画（後期）目標案承認、未収金の取り扱い承認、入会者紹介奨励制度取扱要綱案承認、正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）、シルバー傷害保険の補償内容報告等

(第7回) 令和8年3月10日 センター神野事業所 2階会議室

主な内容 令和7年度補正予算及び決算見込み承認、令和8年度事業計画・収支予算承認、資金調達及び設備投資の見込み承認、事務処理規程の一部改正承認、役員賠償責任保険の契約締結承認、レクリエーション大会開催承認、理事監事選考委員会の設置案承認、正会員入会承認報告、代表理事・業務執行理事の業務報告、委員会報告（事故報告）等

③ 監事監査

令和7年5月7日 センター本部事務所 2階会議室

内 容 令和6年度 事業及び決算に係る監査

イ その他の会議

(総務・地域活動委員会)

月	日	主 な 内 容	場 所
5	9	第1回 前年度事業実績、第1回地区委員連絡会議の開催、第60回定時総会開催、本部事務所の営業時間等	神野事業所
7	11	第2回 本年度事業実績、第2回地区委員連絡会議の開催、会員満足度調査実施、第4次中・長期計画（後期）の目標値、ふれあいフェスティバル報告等	神野事業所
9	12	第3回 本年度事業実績、第3回地区委員連絡会議の開催、第4次中・長期計画（後期）の目標値、会員満足度調査結果報告等	神野事業所
11	14	第4回 本年度事業実績、第4回地区委員連絡会議の開催、第4次中・長期計画（後期）の目標値、ふれあいフェスティバル報告、スマホ講習会報告等	神野事業所
1	9	第5回 本年度事業実績、第5回地区委員連絡会議の開催、次年度委員会等日程、植木剪定及び除草作業の受付方法報告、独自事業募集報告等	神野事業所
3	13	第6回 本年度事業実績、第6回地区委員連絡会議の開催、次年度本委員会の活動予定、定時総会等	神野事業所

(広報委員会)

期 間	主 な 内 容	場 所
4月～6月	「還流」86号発行の準備（原稿収集、構成、校正等） 7月発行「還流」86号発行・配布	本部事務所
10月～12月	「還流」87号発行の準備（原稿収集、構成、校正等） 1月発行「還流」87号発行・配布	本部事務所
1月	「還流」リニューアル	本部事務所

(福利厚生委員会)

月	日	主 な 内 容	場 所
6	12	第1回 会員親睦旅行、レクリエーション大会開催等	神野事業所
7	10	第2回 ボウリング大会の開催、輪投げ大会の開催、会員親睦バス旅行開催等	神野事業所
9	11	第3回 ボウリング大会反省、輪投げ大会開催、会員親睦バス旅行開催等	神野事業所
1	8	第4回 会員親睦旅行振り返り、輪投げ大会の開催、グランドゴルフ大会の開催、令和7年度の活動予定等	神野事業所

(業務・就業開拓委員会)

月	日	主 な 内 容	場 所
6	13	第1回 本年度の取組み予定（就業開拓、就業創出、各種講習会、配分金、仕事の提供方法、就業相談窓口等）、本年度の委員会日程等	神野事業所
10	24	第2回 事業の進捗状況確認（契約金額、就業相談会、各種講習会）、配分金の見直し、就業開拓等	神野事業所
1	23	第3回 令和8年度配分金基準額、事業実施状況、見積書の提出等	神野事業所
3	6	第4回 令和8年度配分金基準額の決定、年間継続発注者の契約状況、植木剪定・除草作業の受付、入会状況、就業相談等	神野事業所

(安全・適正就業推進委員会)

月	日	主 な 内 容	場 所
6	27	第1回 前年度事故発生状況、前年度の活動報告、今年度事故発生状況と防止策、熱中症対策、運転業務の年齢制限、本年度の活動予定等	神野事業所
7	15	安全就業パトロール、3班に分かれて各現場をパトロール	加古川市内
9	5	第2回 今年度事故発生状況と防止策、秋の交通事故防止運動、安全就業講習会（植木剪定、機械除草）の実施	神野事業所
11	7	第3回 今年度事故発生状況と防止対策、9月から10月の活動、年末の交通事故防止運動、安全就業パトロール、安全就業講習会の実施、交通安全講習等	神野事業所
2	6	安全就業パトロール、3班に分かれて各現場をパトロール	加古川市内
		第4回 今年度事故発生状況と防止対策、令和8年度事業計画等	神野事業所

(会員拡大委員会)

月	日	主 な 内 容	場 所
6	20	第1回 今年度の主な取組み、今年度の委員会日程等	神野事業所
9	12	第2回 イベント（段ボールピザ窯、寒餅、味噌）、チラシ配布	神野事業所
11	14	第3回 イベント（段ボールピザ窯、寒餅、そば）、会員紹介制度等	神野事業所
1	9	第4回 イベント（寒餅、味噌）、会員紹介制度等	神野事業所
3	13	第5回 イベント（桜もち・よもぎもち）、参加者アンケート結果、会員紹介制度、次年度の予定等	神野事業所

(地区委員連絡会議)

月	日	主 な 内 容	場 所
5	16	第1回 事業実施状況報告、予定説明、配布物（定時総会関係、講習会・相談会情報、銀歩会案内等）、定時総会の当日役割分担、地区親睦会	神野事業所
7	18	第2回 事業実施状況報告、地区・地域親睦会開催、予定説明、配布物（還流、委員会だより、安全ニュース、空調付作業服等購入助成、ボウリング大会、ゴルフ同好会案内等）	神野事業所
9	19	第3回 事業実施状況報告、地区・地域親睦会、予定説明、配布物（シルバーふれあいフェスティバル、委員会だより、スマホ講習会、技能講習会、安全ニュース、親睦バス旅行、段ボールピザ窯づくり、書道教室生徒募集、絵画愛好会作品展、バドミントン競技体験会案内等）	神野事業所
11	21	第4回 事業実施状況報告、地区・地域親睦会開催、予定説明、配布物（委員会だより、安全ニュース、特技を活かした事業、年越しそば教室、寒餅作り、神野ナリエ開催、焼き芋販売案内等）	神野事業所
1	16	第5回 事業実施状況報告、地区・地域親睦会、予定説明、配布物（還流、委員会だより、技能講習会、安全ニュース、味噌作り、輪投げ大会案内、襖障子網戸はりかえ等）	神野事業所
3	19	第6回 事業実施状況報告、地区・地域親睦会、予定説明、配布物（委員会だより、講習会・相談会情報、春の会員紹介キャンペーン、安全ニュース、体力測定、空調付作業服等購入助成、グランドゴルフ大会、桜餅よもぎ餅、段ボールピザ窯、書道教室生徒募集等）	神野事業所

(別表1)

令和7年度正会員の入退会状況

(単位：人)

月	月別移動状況						月末会員数		
	入会数			退会数					
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
3							922	409	1,331
4	8	3	11	58	25	83	872	387	1,259
5	10	1	11	5	3	8	877	385	1,262
6	8	6	14	27	14	41	858	377	1,235
7	4	5	9	3	1	4	859	381	1,240
8	7	4	11	2	2	4	864	383	1,247
9	10	3	13	3	0	3	871	386	1,257
10	9	5	14	2	0	2	878	391	1,269
11	7	4	11	1	1	2	884	394	1,278
12	14	8	22	1	0	1	897	402	1,299
1	8	4	12	5	2	7	900	404	1,304
2	16	14	30	1	3	4	915	415	1,330
3	18	9	27	14	5	19	919	419	1,338
計	119	66	185	122	56	178	919	419	1,338

(別表2)

令和7年度 事業実績 (請負・委任契約)
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	契約金額 (円)			うち配分金 (円)	就業延人数 (人日)
	公共事業	民間事業	計		
技術群	15,673,571	1,176,162	16,849,733	13,393,804	2,950
技能群	17,711,656	43,518,550	61,230,206	45,733,206	9,501
事務整理群	51,461,325	19,380,409	70,841,734	59,046,563	9,895
管理群	36,111,908	24,180,045	60,291,953	47,661,064	11,510
折衝外交群	5,008,202	0	5,008,202	2,921,025	391
一般作業群	207,285,165	86,129,728	293,414,893	209,238,121	46,234
サービス群	14,758,633	62,977,872	77,736,505	45,935,808	10,544
その他	0	0	0	0	0
合計	348,010,460	237,362,766	585,373,226	423,929,591	91,025

受注件数 (件)	公共事業	民間事業	計
	238	2,977	3,215

就業実人員 (人)
883

(別表3)

請負等事業及びシルバー派遣事業
令和7年度事業実績一覧
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	項目	契約件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)
請負等事業	令和6年度	3,753	892	93,723	575,303,182
	令和7年度	3,215	883	91,025	585,373,226
	前年度対比	85.7%	99.0%	97.1%	101.8%
派遣事業	令和6年度	151	173	15,490	74,588,069
	令和7年度	152	169	16,288	79,995,905
	前年度対比	100.7%	97.7%	105.2%	107.3%
合計	令和6年度	3,904	991	109,213	649,891,251
	令和7年度	3,367	982	107,313	665,369,131
	前年度対比	86.2%	99.1%	98.3%	102.4%

【参考】 経常増減及び一般正味財産期末残高 年度比較

	経常収益	経常費用	当期経常増減額	一般正味財産期末残高
令和3年度	587,049,352	605,099,157	-18,049,805	101,983,117
令和4年度	578,350,668	594,496,346	-16,145,678	85,837,439
令和5年度	624,756,140	603,552,259	21,203,881	107,041,320
令和6年度	635,270,910	601,998,576	33,272,334	140,313,653
令和7年度	406,321,878	360,730,733	45,591,145	185,904,798

(注)

令和7年度から一部の事業は、包括的契約方式のため配分金の扱いが変わっている。

